

(1)

ボランティア通信 2015.11 Vol.187



な か ま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会
(交野市ボランティアセンター内)

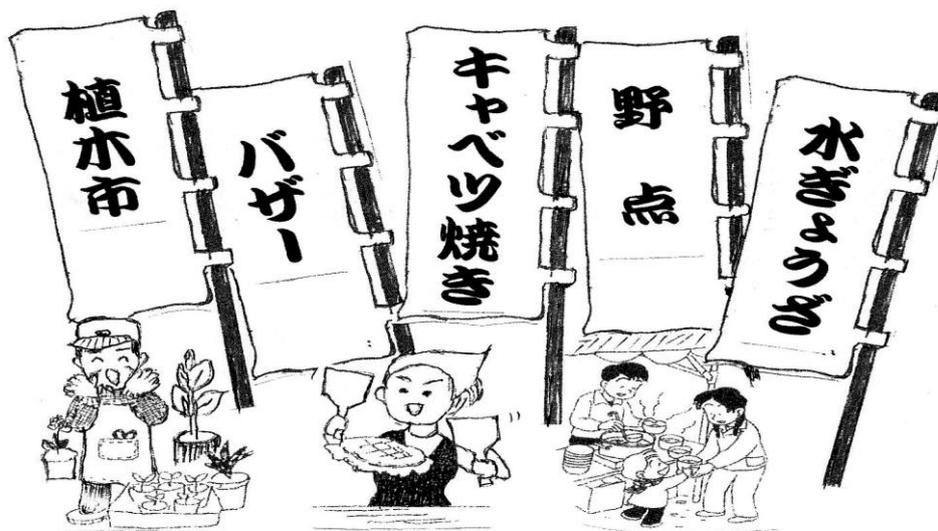
V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp
Vセンター E-mail katabora@nike.eonet.ne.jp

ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンターへ
お問い合わせください
(☎ 894-3737)

第24回健康福祉フェスティバル

11月8日(日)10時～15時 ゆうゆうセンター

ボランティアグループ連絡会では、屋外に5つのブースを出店します。
他に「糸ぐるま・あい」の両グループがバザーのブースを出します。



広場ステージ
歌体操 (HAND)
車いすダンス (ひまわり)

ブースのご案内

キャベツ焼き	・ ・ ・	1枚	100円
水ぎょうざ	・ ・ ・ ・	1杯	100円
おにぎり	・ ・ ・ ・	1個	100円
お抹茶 (菓子つき)		1杯	100円
植木市			
花、苗、庭木、葉牡丹など			
バザー			
格安品満載、当日のお楽しみ			

館内(3階)のご案内

Vグループ活動パネル展示
介護衣料品展示 (糸ぐるま)
点字・点訳体験 (虹の会)
対面朗読 (あい)
手づくりおもちゃとゲーム
(玉手箱)

『当日午前7時現在、交野市に暴風・洪水・大雨警報のいずれかが
出ている場合は、健康福祉フェスティバルは中止となります』

大阪府市町村ボランティアネットワーク連絡会

河北ブロック交流会

10月9日（金）、大阪府市町村ボランティアネットワーク交流会・河北ブロック交流会が寝屋川市成田山不動尊にある吉祥閣で開催され、河北7市のボランティア連絡会メンバー26人が一堂に会し、各市のボランティア活動について情報交換を行いました。

共通課題は 高齢化と人材育成

川市担当市町村である寝屋川市ボランティア連絡会



4 グループに分かれて情報交換

の進行で各市のボランティア活動の現状と課題について報告が行われ、その後4グループに分かれて、各市の報告をベースに情報交換を行いました。そこで出された共通課題はボランティアの高齢化と連絡会役員のなり手が少なく、各市とも妙案がなく困っている現状が報告されました。また当日は参加者全員が祈禱殿でお護摩祈禱を受け、お護摩の火は不動明王の智慧を象徴し、まきは煩悩を炎で焼きつくすというありがたい体験をしました。

傾聴ミニ講座から

共感することから始めよう

10月26日（月）、「陽だまり」では一般参加の方5人を交えて、鴨志田講師の指導を得ながら傾聴のミニ講座を開きました。師の話を聴くときの基本的な態度、留意点など応答スキルを使いながら、開いて工夫しながら、

た鴨志田講師のお人柄が相まってきた、楽しい話の輪ができて話すことで心が安らぎ、笑顔になっていきだけるようになった、そんな活動ができてきた、研鑽したいと気持ちよく

ボランティアセンター

秋の大掃除

11月16日(月)

ボランティアセンターが建て18年になります。いつまでも快適な活動の場としてセンターを大切に使用して行きましょう。

連絡会所属のグループ並びにボランティアセンター登録グループのみなさんご協力ください。

時間 10時～11時30分

(雨天決行)

「当番グループ」

虹の会、あい、ほほえみ、ふれんズ、糸ぐるま、HAND、ひまわり、玉手箱

～よろしくお願ひします～

「マジックヤママーテ」

2010年6月、ボランティアセンターに登録し、地域の福祉施設や子ども会、サロンへの訪問活動をされている「マジックヤママーテ」の原田さんに活動状況などを話して頂きました。

発祥は区長のお誘い

5年前、区長からマジック教室をやらないかとお誘いを受けたのが始まりで、地域には既にマジック教室があり、我々は第2教室として男女11人でスタートしました。

出張講座をメインに

第2教室では、出張講座をメインに活動を展開しています。一時は門真市や枚方市でも活動をしていましたが、最近「明星、きんもくせい」など近くの福祉施設が中



心です。マジックだけでなくハーモニカや三味線などのコラボなど工夫をしています。また勉強会(月2回、第2・4木曜日の午後)では新しい技の習得に努めています。

子どもの眼は怖い

子どもにマジックをみせるときは、高齢者と違い反応が素早いですし、記憶力が抜群で同じ出し物を二度することはできませんので苦労します。

これからの課題は

誰でもできるマジック、興味のある方を募集しています。また出演依頼をお断りしないようメンバーの調整が悩みです。でも時にはお酒をのみながらみんなで楽しくやっています。

ボランティア インタビュー38



作本 儀蔵さん (玉手箱)



ボランティアを始めたきっかけは

阪神淡路大震災の折、仕事で神戸のライフライン復旧に携わりました。当時、大勢の被災者に炊き出しや給水、身の廻りの世話を一生懸命している人たちの活動を眼の当たりにし、退職したら何かやらねばと思わされました。退職後広報で府のシルバードバイザー養成講座の募集を知り受講、終了後受講仲間の人たちとボランティア活動を始めました。

活動を始めてみて?

当初は戸惑いの連続だったが、多くの方々のアドバイス、協力を頂きました。今は、おもちゃ作り、軽スポーツ、ふれあい訪問等、

多勢の仲間と共に活動を通して、色々な方々とふれあう「子どもたちの「ありがとう」の言葉に元氣と楽しさを貰い、感謝の日々を過ごしています。

連絡会に入ってみて、

ボランティアは何となく取っつき難いように思う人たちが多く感じました。そこで思う事は、Vグループ連絡会の説明をしていただくお手伝いが必要ではないか? そしてボランティア活動をもっと発信していただきたい。

今後の活動について

これから、仲間と元氣に楽しく、多くの人たちとふれあい、自分を楽しませたい。

ボランティアサロン お待ちしております

7月よりボランティアセンターでボランティアサロンを開設しています。誰でも気軽にお越しいただけるサロンです。

- ☆開催日時
毎月第2木曜日
午前10時～12時
- ☆場所
ボランティアセンター
- ☆内容
活動紹介DVD上映やボランティアによるミニ講座などがあります。

障がい者に関する マーク その⑤



聴覚障がい者標識

聴覚障がい障害であることとを理由に免許に条件を付され、表示する方が運転する車に表示するマークで、マークの表示は義務となっており、危険防止のためやむ

点字カレンダー

「虹の会」では視覚障がい者の方々へ平成28年度点字カレンダーを作成しています。ご希望の方はボランティアセンターまでお申し出ください。

を得ない場合を除き、このマークを付けた車に幅寄せや割り込みを行った車に運転者は、道路交通法の規定により罰せられます

リーダー会議

(10月27日)

- ☆連絡会より
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会 河北ブロック 交流会報告 (2頁参照)
- ・ふれあい広場について 実行委員会での各ブラスでの準備状況等を報告 (1頁参照)
- ・ボランティアセンター 秋の大掃除について (2頁参照)
- ☆各グループから
- ・KIC 11月11日、アカペラのコンサートをゆうゆうセンターで開催
- ・虹の会 11月20日、星田小学校4年生の点字体験をします。
- ・玉手箱 依頼が多く多忙を極めていきます。
- ☆センターより
- ・平成27年度ボランティア表彰について
- ・厚生労働大臣表彰で個人の部で1名、団体の部で「アリス」の受賞が決定。大阪府知事表彰では個人の部で5人の方の受賞が決定しました。



ひょうたん ライト

先日、友人に誘われて、ひょうたんでライトを作るワークショップに参加しました。
ひょうたんを選んで、デザインを考えて、半田ごてで穴を開けて・・・の作業をしました。ひょうたんの中にライトを入れるので、穴は小さめより大きめにすると、光が洩れやすく綺麗だと教えてもらいました。結局、3時間かかって仕上げました。部屋を真っ暗にしてライトを点けると、気持ち落ち着きますし心が癒されます。
ひょうつとしたら私を夢幻の世界へと誘ってくれたかも知れないと想ったり、そんな非日常的なひと時があるといいなあと想うのは、私だけかしら・・・。
クローバー